

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立稲井中学校

○ 私たちの取組

「Good Point Card」の掲示

○ 取組の紹介

稲井中学校生徒会執行部では、右のような「Good Point Card」を掲示しています。毎月、執行部でテーマを決め、特に行事と関連させ、頑張っていた人へのメッセージや応援メッセージなどを自由に書き込むスペースを設けています。行事への士気を高めるとともに、学年を超えて、お互いのよさを認め合うことで、明るい雰囲気为学校づくりに努めたいと考えています。実際に今年度は「中総体に向けて」という内容でメッセージを募ったところ、互いに励まし勇気づけあう言葉が集まりました。



成果

お互いの良いところを探しあう雰囲気も、学校全体で少しずつ作られてきたので、今後も様々なテーマで実施し、全校生徒が興味をもって「Good Point Card」に取り組んでいけるようにしたいです。

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立稲井中学校

○ 私たちの取組

朝のあいさつ運動

○ 取組の紹介

稲井中学校生徒会では、全校であいさつ運動に取り組んでいます。曜日ごとに担当を決め、8:00~8:10に昇降口であいさつを行っています。委員会や部活動ごとに行い、朝から気持ちよく学校生活を送れるようにしたいと考えています。今年度は執行部があいさつ運動に加えて自転車のカギ紛失を注意する呼びかけをするなど、幅を広げて活動しています。稲井中の合言葉の一つに「あいさつ」がありますが、まだまだ課題があります。あいさつ運動をきっかけにして「お互いが気持ちよく過ごせる雰囲気づくり」に努めていきたいです。



成果

部長を中心に、生徒たちが自主的に活動しようとしています。明るい学校づくりの土台として、今後もあいさつ運動をレベルアップさせていきたいです。

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立荻浜中学校

○ 私たちの取組

「グッドポイントカード」

○ 取組の紹介

行事や日常の学校生活で、頑張っていることや、してもらってうれしかったことなどを認めたり、伝え合ったりする取組です。取組を通して自分や友だちの良いところに気付くことができます。生徒と先生全員が参加しています。

全校生徒の似顔絵を描いたシートを2階廊下に掲示しており、メッセージを記入した付箋をいつでも貼ることができます。

学校生活の中でも、お互いにいいところを「いいね」と伝えたり、「ありがとう」と伝えたりする機会が増えたように感じます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立荻浜中学校

○ 私たちの取組

「席替え給食」

○ 取組の紹介

給食時間は、毎日全校生徒と先生方が一緒に給食を食べています。

座席を毎日くじ引きで決めているので、隣になった人と給食を食べたり、会話をしたりすることでコミュニケーションをとることができます。

毎日違う人と隣になり、様々な話題で会話ができるので、楽しい時間を過ごすことができます。



小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立牡鹿中学校

○ 私たちの取組

『あいさつ運動』

○ 取組の紹介

あいさつ運動は自分から進んであいさつをする習慣を身に付け、みんなが一日の始まりを気持ちよく迎えるために行っている活動です。生徒会が中心となり、登校時に先生や生徒同士であいさつを交わす機会をつくっています。この活動を通して、校内ですれ違うすべての人たちに、自分からあいさつをする人が増えてきました。

あいさつ運動を続けることによって、明るい学校をつくるだけでなく、地域の方々にも自ら進んであいさつをする意識の向上にもつながっています。



小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立牡鹿中学校

○ 私たちの取組

『全校スポーツ大会～ソフトバレーボール大会～』

○ 取組の紹介

数年前に生徒会執行部の提案により、年に1回、生徒会主催でスポーツ大会を開催しています。今年は6つのチームに分かれてバレーボール大会を行いました。チームは縦割りで編成し、学年関係なく意見を出し合い、気持ちを一つにして戦いました。

「全校生徒が楽しめる」「全員が活躍できる場を提供する」ということを合言葉に、ルールを考えました。この大会を通して、他学年との交流を深めながら、学校への所属感を高め、いじめを生まない学校づくりができると考えています。



小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立牡鹿中学校

○ 私たちの取組

『各委員会による生徒集会』

○ 取組の紹介

生徒集会は、各委員会が全校生徒に向けて企画している集会です。今年度、生徒会執行部は「SNSの正しい使い方について」、保健・給食委員会は「配膳時のマナーについて」、図書委員会は「本の貸出し数ランキングクイズ」、広報・福祉委員会は「イントロクイズ大会」など、それぞれの委員会活動に関連した活動を企画し、実施しました。

こうした集会を通して、自分たちが気持ちよく学校生活を送るためには、全校生徒がどのようなことを意識したら良いかや、よりよい学校をつくるにはどのようなことをしたらよいかを考えるきっかけになりました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立河南西中学校

○ 私たちの取組

文化祭における『1人1役』

○ 取組の紹介

【課題研究】

- ・「鳥」の研究
- ・「百人一首」の世界
- 他

【地域社会学校貢献】

- ・文化祭の看板作成
- ・地域の伝統芸能
- 他

【芸術表現】

- ・劇
- ・ダンス
- ・映像作品制作
- ・美術作品制作（絵・書道・折り紙）
- 他

「個性」を大切に「互いを認め合う」ことができればいじめ防止になるのではないかと思った。文化祭を通して、一人一人が活躍する場ができたことは、西中生の一員だという実感につながった。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立河北中学校

○ 私たちの取組

「地域の高齢者宅への慰問活動」

○ 取組の紹介

河北中学校では、冬休みに全員が担当を決めて、地区の高齢者のお宅を訪問し、干支の置物や手紙を渡すという活動を行っています。今年度はそれに加えて、生徒自らが手作りした防災キャンドルと防災合言葉が入った防災啓発ティッシュを持参して手渡しで届けました。おじいさん、おばあさん方に「毎年楽しみにしているよ。」と笑顔で感謝されると、私たちもうれしい気持ちになります。地域とのつながりが少なくなっている現在、私たちの河北地区ではこのような交流を貴重な行事ととらえ、これからも私たちを育ててくれた地域の方々に感謝の気持ちを忘れずに頑張ろうと思います。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立河北中学校

○ 私たちの取組

「地域の小学6年生と保護者の方との交流会」

○ 取組の紹介

河北中学校では、年に何回か次の年に入学してくる小学6年生が中学校に来る機会があります。授業や部活動の様子を見学してもらうこともあります。また、写真は「入学説明会」での様子で、生徒会執行部が学校紹介をしている場面です。春休みの「一日入学」の際も同様の機会がありますが、生徒会のしくみを説明するだけではなく、中学校生活への不安を取り除いてもらうために、ゲームやクイズをして和やかな雰囲気を作るよう心がけています。小学生は、部活動への参加や先輩との関わりについて気になっている子どもが多いと思うので、「中学校は楽しい所だよ!」「優しくておもしろい先輩が多いよ!」ということをアピールできたらいいなと思います。



小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立山下中学校

○ 私たちの取り組み

小学生や地域の民生委員さんたちとの挨拶運動

○ 取組の紹介

本校では、生徒健全育成ボランティア「シリウス」の活動の一環として、生徒が月に1回、学区内の小学校へ行って朝の挨拶運動を行っています。朝の元気な挨拶から行きたくなる学校を目指すこと、また、中学生の先輩たちが元気に挨拶をする姿が小学生の手本となるようにという願いから、活動を続けてきました。各小学校からは好評をいただいております。特に、昨年まで6年生だった先輩が、中学生として立派に活躍している姿を見せることが小学生にも喜ばれているようです。最近では、小学校の委員会活動と連動して、小学生と中学生が並んで挨拶運動をするなど、活動が活発化してきています。更に、中学校では、地域の民生委員と協力した挨拶運動を4回行いました。生徒だけでなく、民生委員の方々の前でも、変わらない元気な挨拶ができることで、中学校内だけでなく、地域でも元気な挨拶ができることを目標に活動に取り組んでいます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立住吉中学校

○ 私たちの取組

小学校へ出向いての中学校説明会

○ 取組の様子

毎年2月に、学区にある開北小学校と住吉小学校で中学校説明会が行われ、先生方から小学6年生に対して中学校の学習や生活について説明があります。そこに生徒会執行部役員の生徒も行き、中学校生活についてスライドを使いながら説明をします。基本的には各小学校のOBやOGである生徒が説明を行います。よく知らない中学校の先生方からの話だけでなく、よく知っている同じ小学校の先輩の説明ということもあり、小学生は少しリラックスした状態で話を聞いたり、楽しそうな学校行事の写真を見て中学校生活のイメージを膨らませたりすることができます。また、それぞれの中学生から、小学生への優しい歓迎のメッセージも話します。それにより、小学生にとっては、「中学校の先輩方は怖そうだ」、「うまくやっていけるか心配だ」という中学校生活への不安から、「自分もこういう先輩方のように中学校生活を頑張りたい」、「得意なことを生かして活躍できるかもしれない」という期待が大きくなったという生徒もいました。また、3月の入学説明会では、生徒会役員から、中学校生活全般に関係する説明をすることで、より具体的に中学校生活をイメージしてもらうことができます。

これからも、新しく入学してくる後輩たちが、少しでも安心して中学校に入学できるよう、明るく楽しい中学校生活の雰囲気作りを頑張っていきたいと思います。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立青葉中学校

○ 私たちの取組

「中学校体験会」

○ 取組の紹介

当日は、2クラスに分かれ、生徒会執行部が中心となって体験授業を行いました。クイズ形式で中学校の紹介をした後、グループに1人生徒会執行部の生徒がファシリテーターとして参加し、小学生の悩みや質問に答えます。「教科が増えること」や「体育祭、文化祭ではどんなことをするのか」などの質問がありましたが、やはり、「勉強はついていけるか」、「先輩との関わり方」についての質問がたくさん出ました。勉強に関しては、授業に真剣に取り組むことや予習・復習の大切さなど、ファシリテーターが優しく伝えることで、小学生の不安が少しずつ解消され、笑顔で会話する様子が見られました。



次に、部活動見学を行い、全ての部活動を見学しました。先輩が一生懸命練習に取り組む姿やファシリテーターとの会話の中で、小学生の先輩に対する印象も変わっていき、感想では、「先輩が熱心に部活動に取り組む姿に憧れました。」や「グループに入ってくれた先輩がとても優しく、気さくに話してくれて嬉しかったです。」という声が多く上がっていました。



中学校体験会を終えての小学生の感想では、「中学校体験会を通して、入学するのが楽しみになりました。」や「先輩が優しく中学校のことを教えてくれて、勉強に対する不安もなくなりました。」など、中学校入学に向けて、前向きな感想がたくさんありました。生徒会執行部の感想では、「6年生の子が“先輩の話聞いて中学校が楽しみになった”と言ってくれて、役に立てたことを実感しました。」や「“青葉中に早く行きたい”と思ってもらえるように明るく接し、丁寧に質問に答えることができた。」など、達成感を味わいながら、先輩としての自覚を更に高めている様子でした。

中一ギャップを少しでも軽減し、希望を持って中学校に入学してもらえるように、今後もこのような活動を行っていきたいです。

○私たちの取り組み

- ・ いじめ STOP 運動の撮影, 上映
- ・ 異学年の交流を目的とした生徒集会の実施

○取組の紹介

今年の文化祭で各委員会の委員長や部長, 生徒会のメンバーで, いじめをなくす声掛けを目的とした3分程のショートムービーを作成しました。「ネットいじめ」を主なテーマとし, 「学級での係活動を発端に SNS を通していじめにあってしまう」という内容で, 動画を撮影しました。危険は身近にひそんでいることを, 劇を通して伝えました。

また, 本校では, 前々生徒会長が前生徒会長に, 「いじめのない学校をつくるために, 生徒集会を行って生徒同士の交流を深めてほしい」と熱い思いを伝え, その思いを受け継いで, 生徒集会を定期的実施するようになりました。この生徒集会は前々生徒会長がいじめ STOP サミットで, 他の中学校の方から教えていただいたものです。

今年もその思いを受け継いで, 生徒会や委員会を主体として生徒集会を企画し, 実施しました。初めはお互いに話すことができなかつたり戸惑ったりしていましたが, 回数を重ねるごとに良い雰囲気活動できるようになりました。

これらの活動の結果, 異学年同士でも交流し, いじめの風潮を軽減することに繋がったと考えています。また, 桃生中学校はより明るい中学校になったと考えます。



動画の中で使用したネットでのトラブルの様子



係活動決めの撮影風景



生徒集会の様子



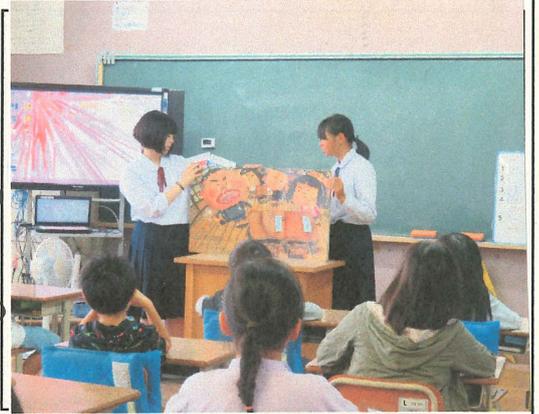
○ 私たちの取組

小学生への読み聞かせ

○ 取組の紹介

私たちの学校では年に2回、図書委員会を中心に小学生へ絵本の読み聞かせを行っています。この活動では小学生に本を読むことの楽しさを伝えられるだけでなく、実際に中学生が活動している姿を見ることで「自分も、中学生になったらこんな感じになりたい」というように

中学校のことを知り「中学校に入るのが楽しみ」と思ってもらえるきっかけともなっています。また、中学生としても自分の成長した姿をお世話になった小学校の先生方に見せることができ、機会となっているので、この行事が小中学生をつなげ、双方に希望を与えているといえます。



○ 私たちの取組

入学説明会

○ 取組の紹介

北上中学校に入学予定の小学6年生を対象として、中学校での生活やルールの説明、部活動見学などを行っています。

説明会を通して、北上中学校について知ってもらうと同時に、中学校生活に対する疑問や不安の軽減を目的としています。

新入生に中学校生活への期待をもってもらうため、全校で取り組んでいます！



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立万石浦中学校

○ 私たちの取組

「ピア・サポート・クラブ」の運営

○ 取組の紹介

ピア・サポート・クラブとは……

生徒会執行部を中心に、有志からなる団体。「ピア」とは「仲間」のことで、様々な活動を通して仲間同士のサポート活動を展開する。

1 絆づくりサポート活動

昼休みを活用して、全校レクリエーションを月に

1回開催し、全校生徒の絆づくりを促進した。

2 コミュニケーション向上サポート活動

挨拶運動や風紀委員会との連携を通して、学校全体のコミュニケーションスキルの向上に努めた。

3 学習ピア・サポート活動

放課後学習会を実施した。場所を提供することと、サポーターの自作プリントで基礎学力を向上させることを目的として活動した。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立万石浦中学校

○ 私たちの取組

小中連携行事の充実

○ 取組の紹介

・運動会サポート活動（5月）

小学校の運動会に有志の生徒がサポーターとして運営に協力した。

・学習会サポート活動（7月）

小学校の「夏休み学習会」に、有志の生徒がサポーターとして参加し、学習支援を行った。

・3年生合唱披露（10月）

頑張っている中学生の姿を見てもらう目的で、小学校の学芸会児童公開日に3年生が出向いて合唱を披露した。

・部活動訪問（1月）

1・2年生全員が、各部に分かれて小学校を訪問し、部活動の紹介や簡単な体験活動を企画・運営した。小学生から「中学校生活への不安がなくなった」という声が多く聞こえた。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立門脇中学校

○ 私たちの取組

『校外外でのあいさつ運動』

○ 取組の紹介

私たち柏陵生徒会は「気持ちのいいあいさつが飛び交う学校」を目指し、あいさつに力を入れています。月曜日から金曜まで、部活動ごとに割り当てを決め、毎朝校門と昇降口前でのあいさつ運動を行っています。また、あいさつの大切さを伝えようという目的のもと、毎週火曜日の朝に生徒会執行部が大街道小学校に行き、小学生と一緒にあいさつ運動を実施しています。今年度は昨年度以上に、生徒一人一人が自発的にあいさつをしています。どの学級も、朝のあいさつだけでなく、授業の始めと終わりのあいさつも元気良く行っています。大街道小学校でのあいさつ運動では、小学生にとってあいさつの大切さについて考える良い機会となっているようです。みんなが行きたくなる学校をつくるために、私たち柏陵生徒会としては、まずは生徒一人一人が「自分たちの力で学校を良くしよう」という気持ちをもつことが大切だと考えています。その第一歩として、毎日のあいさつから良い雰囲気をつくっていけるよう、今後も取り組んでいきたいです。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立門脇中学校

○ 私たちの取組

全校学習会『柏陵寺子屋』

○ 取組の紹介

毎学期行われる期末考査に向け、生徒会執行部が主体となり、全校での学習会を行いました。放課後の時間を使い、2日間開催としました。1日目は学習したい教科ごとに教室を分け、学習したい教科を選んで学習する時間としました。2日目は、部活動ごとに教室を分け、学習しました。友人同士で教え合ったり、上級生が下級生に優しく勉強を教える場面も見られました。1年生は、2、3年生から勉強法などを学び、具体的な目標を掲げて学習することができました。上級生は、下級生に勉強を教えることによって、思いやりの気持ちを育むとともに、下級生の手本になることで、自分に自信を持つことへとつながったと思います。門脇中学校では、KPU（門中パワーアップ）という学校生活向上プロジェクトを立ち上げ「進んで学習する生徒」「明るく思いやりのある生徒」「健康でたくましい生徒」という目指す生徒の姿に近づくために様々な取組を行っています。様々な取組の結果、全校アンケートにおいて「学校生活が楽しい」「学級の居心地がいい」と答える生徒の割合は9割を超えるなど、非常に高くなっています。今後もこれらの取組を継続、更に発展させていきたいと考えています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立雄勝中学校

○ 私たちの取組

「挨拶運動」

○ 取組の紹介

毎朝、生徒会役員が昇降口に立ち、登校する児童生徒一人一人と挨拶を交わしています。この活動は、生徒同士の会話を促し、校内の明るい雰囲気づくりに役立っています。毎朝行っていることで、児童生徒がお互いに目を合わせて挨拶をしたり、友達の様子の変化に気付いて声を掛けたりするようになっていきます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

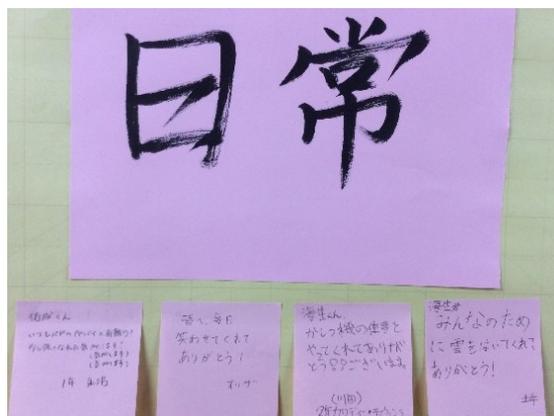
石巻市立雄勝中学校

○ 私たちの取組

「ありがとうキャンペーン」展示コーナーの設置

○ 取組の紹介

校内廊下の共有スペースに、日々の生活の中で感じている「ありがとう」の気持ちを共有する展示コーナーを設置しています。それぞれの気持ちを付箋に書いて貼り、お互いに見合うことで一人一人の心を豊かにすることを目標としています。また、毎月にテーマを決めるなどして、たくさんの方が気軽に書けるように工夫しています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立渡波中学校

○ 私たちの取組

防災訓練

(小・中学校・地域連携の炊き出し訓練と地域防災)

○ 取組の紹介

どちらの活動においても、地域と学校、また小中が連携することで、地域に住む多くの方と触れ合い、コミュニケーションの輪を広げることにつながった。この活動を通して、実際に地域の方と会話をしたり、自然に挨拶を交わしたりすることができるようになった。

特に炊き出し訓練に関しては、前日から、地域の方と中学生と一緒に準備をする中で、和やかな雰囲気でお話や料理を楽しむことができ、双方にとって有意義な時間となった。また、皆で同じものを食べたり、おいしさを共有したりしたことで、より地域が一体となった活動となった。

話せる人や相談することができる人が増え、いじめの未然防止につながってきた。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立渡波中学校

○ 私たちの取組

様々なボランティア活動

(小学校への学習支援、榎壇地区祭り、サン・ファン渡波市民祭り、榎壇BBQ、栄田祭りなど)

○ 取組の紹介

平成30年度から学校独自でボランティアセンターを開設している。ボランティアを“する側”と“受ける側”のコミュニケーション、つまり学校と地域、小中の学校間の双方向でのつながりがよりスムーズになり、地域全体の活性化につながるだけでなく、生徒の実践的なコミュニケーション能力の育成も目標にしている。

この活動を昨年度から行ってきたことで、生徒のコミュニケーション力が徐々に高まり、生徒同士で助け合ったり、心配し合ったり、時には、喧嘩の仲裁に入り、場を収めたりと、人のために活動ができる生徒が増えた。また、地域の方の学校への関心が高まり、より地域の見守り活動も活性化してきた。

今後もこの活動を続け、人のために動ける生徒が増えるよう、皆で声を掛け合えるようになりたい。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立渡波中学校

○ 私たちの取組

地域交流

(毎朝の挨拶運動や地域交流活動など)

○ 取組の紹介

渡波中学校では、挨拶はコミュニケーションの基本という考えから、毎朝中学校付近の交差点と昇降口に立ち、中学生はもちろん、小学生や通勤途中の地域の方などへの挨拶運動を行っている。

今年は、更に地域交流活動ということで、地域交流レクリエーションを行った。囲碁や将棋、花札などの年代でもできるレクリエーションを行った。その結果、年代を超えた白熱した戦いがあったり、それを見て地域の方と生徒が話したり、戦い後に戦術を学んだりと自然とコミュニケーションをとる場となった。

今後は、より多くの地域の方や保護者の方にも参加していただき、コミュニケーションを取り合える、あたたかい雰囲気を学校はもちろん、地域にも発信していきたい。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない生きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立 石巻中学校

○ 私たちの取組

いじめをなくすためのメッセージの募集

○ 取組の紹介

石巻市教育委員会刊いじめをなくす風土づくり、

「標語と心のメッセージ」の作成について石巻中学校生徒有志で組織するいじめ撲滅委員会「ブルスター」で呼び掛け、集まった作品について審査などを行った。

○ 成果

全校生徒1人1人がどうすればいじめがなくなるかについて標語という形で考えたことでいじめに対してへの意識を高めることができた。

メッセージ募集以外についても、何かやろうとする行動力がブルスター内で身に付き、来年度入学予定の小学6年生を対象として、学校生活アンケートを実施し、中学校生活で不安なことなど中学生が回答する企画や、ブルスターが小学校に出向きあいさつ運動を行うことで小中学校間での交流を図る企画を予定している。

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

東松島市立矢本第一中学校

○ 私たちの取組

心の朝錬

○ 取組の紹介

毎月15日と30日を原則とし、7時45分から「心の朝錬」として部活動ごとに学校内外の清掃活動やごみ拾いを行っています。部内の団結力を高めるとともに、一中生の奉仕の心や思いやりの気持ちを向上させています。

また、元気なあいさつは学校生活の基本と捉え、毎朝部活動単位であいさつ運動を実施しています。校門や昇降口だけでなく、学校周辺の歩道（あいさつ通り）でも行っています。学校内の活気と人間関係に良い影響を与え、地域に貢献していく姿勢も高めています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

東松島市立矢本第二中学校

○ 私たちの取組

生徒健全育成ボランティア「アルタイルⅡ」による非行防止キャンペーンの実施

○ 取組の紹介

矢本第二中学校では、平成30年に石巻警察署と連携し、生徒健全育成ボランティア「アルタイルⅡ」を立ち上げ、学校や矢本二中学区の安心と安全のために総勢22名で活動しています。その活動の1つに学期に1回、地域に出向き、石巻警察署や地区の防犯協会と合同で非行防止キャンペーンを行っています。今年度は7月に陸前赤井駅前、12月はドン・キホーテ石巻街道店で行いました。当日は、メンバーが作成した非行防止のアルタイルⅡオリジナルのチラシと石巻警察署で準備していただいた防犯グッズなどを駅の利用者やドン・キホーテに来たお客様に配布しました。非行防止キャンペーンの様子は、毎回、地元の新聞にも取り上げられ、地域の方々に「アルタイルⅡ」の活動を知っていただく機会になっています。これらの取組によって、「アルタイルⅡ」の活動が地域のために役立っていることを実感することができています。また学校全体としても、アルタイルⅡのメンバーが地域で頑張っているから、しっかり生活していこうとする意識の向上にもつながっています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

東松島市立鳴瀬未来中学校

○ 私たちの取組

返したくなるあいさつ運動

○ 取組の紹介

この活動は毎朝元気よく登校できるように行っています。各クラスがローテーションで時間通りに集まることで、生活リズムを整えることができます。

生活委員会で企画した『返したくなるあいさつ運動』はクラスごとに相手から返してもらえるようなあいさつを考えました。どのクラスもあいさつの方法や行う場所などを工夫していて、登校時の笑顔が増えていました。全てのあいさつ運動が終了した後に、先生方の投票で優勝クラスを決めました。そして、優勝したクラスのあいさつを未来中生全員で行いました。

たくさんの意見が出てクラスの団結力も高まり、この活動を通して、朝から笑顔が増えたような気がします。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

東松島市立鳴瀬未来中学校

○ 私たちの取組

リサイクル資源回収

○ 取組の紹介

この活動のきっかけは、自分達が行いたい活動の資金を集めるために生徒会が企画し始めました。今では学校の伝統的な行事となり、生徒だけではなく地域の方々も参加します。地域との交流を大切に、自分達が中心となり活動してきました。

主に、段ボール・ビン・カン・雑誌・自転車などを回収し、軽トラックで家をまわったり、集積所など決まった場所に集められたゴミを生徒たちでトラックに積み込んだりして、分別場所に運びます。

当日は全校生徒・保護者・先生方がひとつとなって資源の大切さや地域の環境整備について考え活動します。地域との関わりが減っていく課題もある中でより良いものにできるように、全力で活動していきたいと思えます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

東松島市立鳴瀬未来中学校

○ 私たちの取組

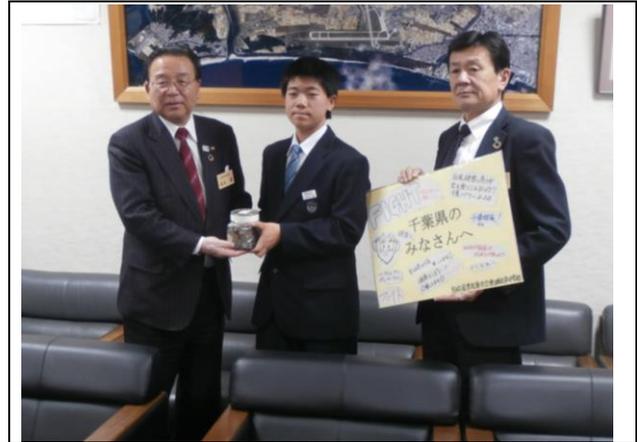
募金活動

○ 取組の紹介

東日本大震災の時にたくさんのご支援をいただいたのでそのお返しとして、台風被害にあった千葉県の方のために募金活動と励ましのメッセージを送りました。

どちらも文化祭で保護者の方にもご協力いただいたおかげで、たくさんの募金とメッセージが集まりました。

集まった募金は東松島市を通して千葉県の君津市に送られ、君津市の市長さんからお礼の手紙を頂きました。生徒会の交流もあったので、いつもよりコミュニケーションが活発になりました。



○ 私たちの取組

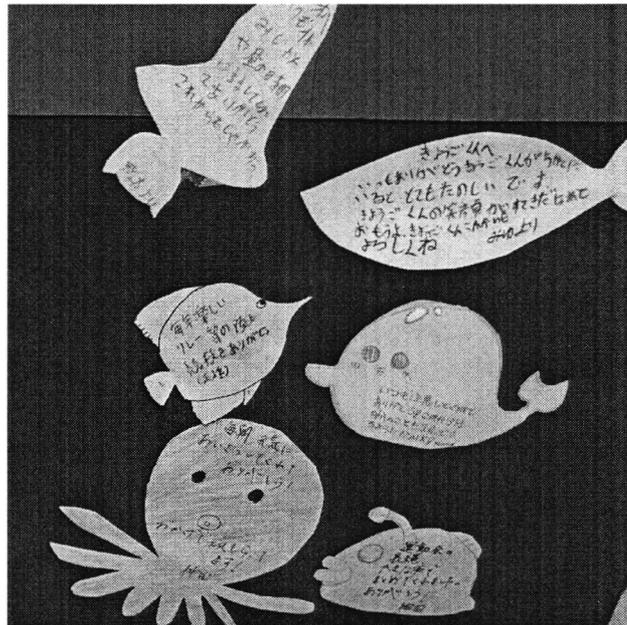
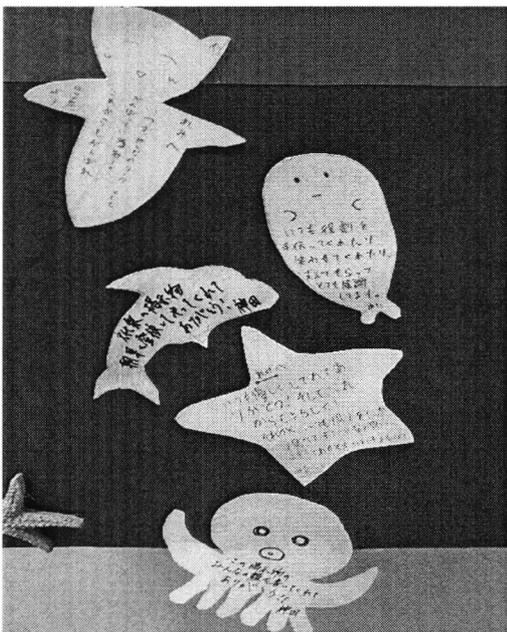
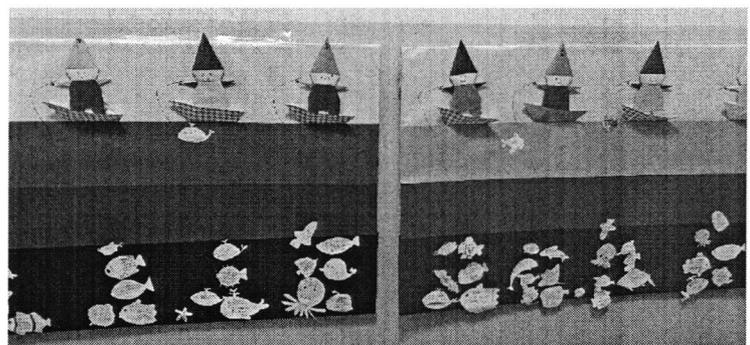
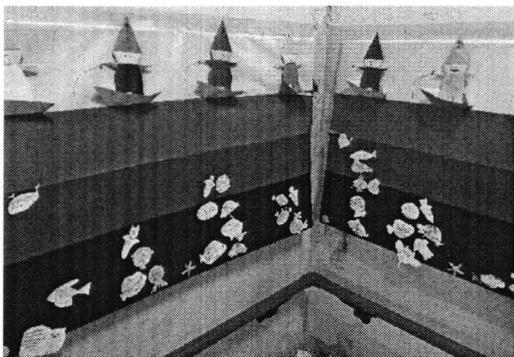
「大量のありがとうで大漁に！」

～友だちのよかったところや感謝の気持ちを書いて掲示しよう。(1学年)～

○ 取組の紹介

私たち1年生では、「友だちの良いところや、すばらしいところをお互に見つけ、掲示物を通して伝え合いましょう。」という取組をしています。工夫した点は、海の街女川らしく、良い行いを魚に見立てて釣り上げるという設定にしたことです。学年の一人一人が海で魚釣りをしている様子を表現した掲示物は、折り紙や画用紙を使って、みんなで制作しました。たこやアンコウなど様々な種類の魚には、友だちから見た良い行いや感謝の気持ちが記述されています。約1年間で、どの友だちも5匹以上の良い行いが釣り上げられています。この取組を通して、自分の頑張りやよさなどが周りの友だちや先生方に認められることに喜びを感じたり、自分が知らなかった友だちのよさに気が付いたりすることができました。また、みんなで自他のよさを目に見える形にしたことで、自己肯定感が育まれ、学年全体が温かな雰囲気になっています。

感謝の魚は今でもどんどん釣られていて、「大量のありがとうで大漁」になっています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立新田中学校

○ 私たちの取組

「いじめ防止標語校内コンテスト」の実施と全校生徒作品の掲示

○ 取組の紹介

私たちの学校ではいじめを未然に防止するために「校内いじめ防止標語校内コンテスト」を実施しました。標語を考えるにあたり、“行きたくなる学校とは？”と、“そのためにできること”をテーマにグルーピングを行い、考えを共有し合いながら標語を考えました。その中から学校代表の標語を選び、日本PTA主催の「いじめ防止標語コンテスト」に出品しました。

その後、全校生徒が真剣に考えた標語を校内に掲示し、いじめを無くし、行きたくなる学校づくりを啓発しています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立新田中学校

○ 私たちの取組

「モバイル通信機器を使用するときの心得5（ファイブ）」の策定

○ 取組の紹介

生徒会執行部が中心となり、「モバイル通信機器を使用するときの心得5（ファイブ）」を策定しました。

1. 使用時間、時間帯について、家庭のルールを守ります。
2. 使用するときには、こまめに休憩をとります。
3. モバイル通信機器を使用するときも相手の気持ちを尊重します。
4. フィルタリング契約した機器を使用します。
5. 個人情報をインターネット上にあげません。

学習文化発表会では、ゲーム依存症についても取り上げ、全校生徒に注意喚起をしました。



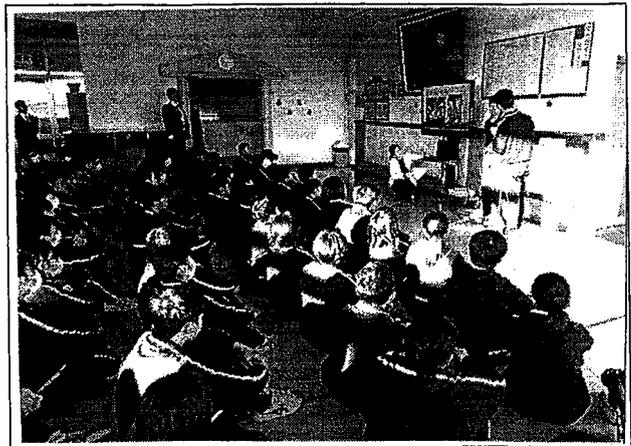
(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立登米中学校

○ 私たちの取組
生徒集会

○ 取組の紹介

- ・内容 → 「宮城いじめを考えるフォーラム」に参加した生徒会2人がフォーラムで話し合ってきた内容を全校の前で発表した。また、いじめ防止標語コンテストの選抜作品を紹介した。
- ・目的 → いじめのない学校をつくるため、フォーラムに参加して班で話し合っただけでいじめをなくす取り組みについて全校に紹介して共有した。
- ・成果 → フォーラムの存在や話し合った内容を全校に伝え、いじめは絶対にしてはいけないということが改めて理解できた。特に優れた5つの標語を全体で共有できた。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

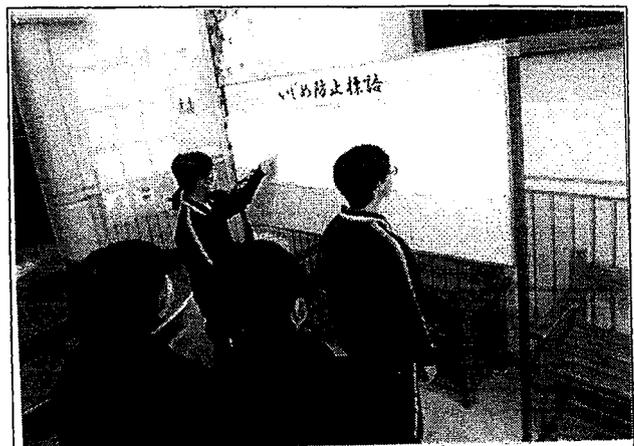
登米市立登米中学校

○ 私たちの取組

「いじめ防止標語」コンテスト

○ 取組の紹介

- 私たちの学校では、生徒全員でいじめについて考え、いじめのない学校にするために「いじめ防止標語」コンテストを実施しました。
- 作品の数々はどれもすばらしく、その中でもより良い作品を選抜しました。作品は全てホールに展示し、生徒の目に入るようにしました。
- これから一人一人がいじめについて考え、いじめ防止をバナーにしたいと思っています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立東和中学校

○私たちの取組

「あいさつ大使の任命」

○取組の紹介

東和中学校には、代々生徒に受け継がれている3本柱「あいさつ」「清掃」「集団行動」があります。3本柱は地域や小学校にも認知されている伝統の一つです。その中でも、「あいさつ」をより良いものにしていくため、「あいさつ大使」という役割を新たに作りました。今年度はあいさつ大使を中心に「立ち止まって」「自分から」あいさつを行うことを重点的に強化しました。2年生から2名、3年生から2名選ばれた大使は、あいさつの点検や指導、望ましいあいさつの仕方について考え、全校に伝えるなどの役割を果たしています。その結果、1年生から3年生まで、立ち止まってあいさつを行う生徒が増えています。あいさつ大使を中心に、朝から気持ちの良いあいさつを行うことで、友達とのコミュニケーションを円滑にし、みんなが「通いたい」と思えるような学校づくりを進めています。



○ 私たちの取組

いじめ撲滅運動（各クラスからのいじめ防止標語の発表）

○ 取組の紹介

いじめ防止活動の一環として、いじめ撲滅運動を行いました。学級活動の時間を活用し、いじめ防止のために学級で何ができるのかを考えました。1時間目は、いじめの定義を理解した上で、「いじめの傍観者はいじめになりうるのか」というテーマで、ワークショップを行い、学級内で意見交換を行いました。その上で、2時間目にワークショップ出された意見を参考にしながら、自分たちの学級でいじめを起こさないためにどのような事を心掛けたら良いのかを標語で表現するという活動を行いました。そしてまとめとして、各クラスの学級委員が自分たちの学級の標語を生徒集会で全校生徒に紹介しました。各学級それぞれ真剣に討議を重ね、標語を作ることができ非常に有意義な活動となりました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない生きたくなる学校づくり」の取組

登米市立豊里中学校

○ 私たちの取組

校内いじめ防止標語コンテスト

○ 取組の紹介

いじめをなくし、誰もが来たくなる学校づくりをするため、いじめ防止運動の一環として、生徒会執行部を中心に「校内いじめ防止標語コンテスト」を実施した。実施後、掲示内容を立ち止まってみる人が多くいた。いじめをしている人はいじめの抑止になり、いじめられている人にとっては安心して相談できる環境づくりに一層つながったと考える。今後もいじめについて考える取組を企画し、誰もが来たくなる学校づくりを目指していきたい。

<内容>

- 1 朝活動の時間に、執行部が各教室（4学年～9学年）で趣旨説明を行い、全員が標語を考えた。（図1）
- 2 執行部で各学級から提出された標語に一覧表にまとめる。（図1）
- 3 一覧表をもとにアンケート調査を行い、各学級から標語を3点選出する。（図1）
- 4 各学級から選出された標語を放送で紹介したり、昇降口に掲示したりした。（図2）

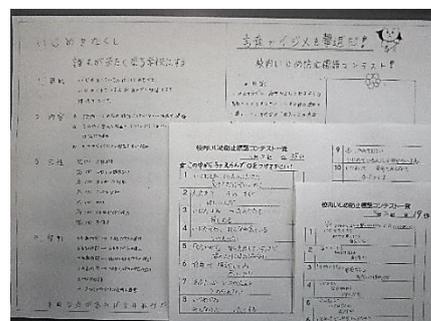


図1 校内標語コンテストとアンケート

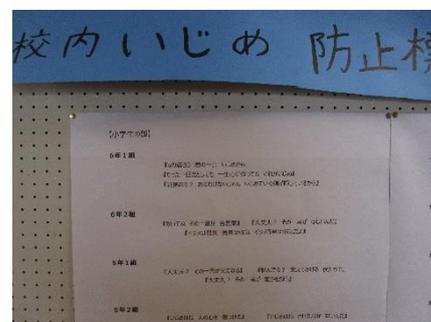


図2 昇降口前に掲示した標語

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立米山中学校

○ 私たちの取組

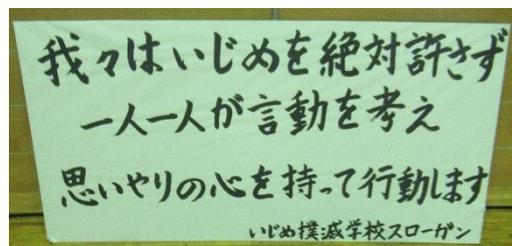
「いじめ撲滅運動①」いじめ撲滅のための生徒集会

○ 取組の紹介

- ・生徒集会で生徒会役員からいじめとは何かを投げ掛けた。
- ・生徒会本部役員と2年生の協力生徒で寸劇を行い、いじめの具体例について解説した。
- ・いじめについて理解を深めたところで、学級委員が中心となって、「いじめ撲滅行動宣言(個人)」と生徒会で企画した「いじめ撲滅学級スローガン」について各クラスで話し合い、全校集会で発表した。

※話し合いでは、いじめが発生する要因を洗い出し、学級の課題についても考えた。

- ・今年度から生徒会が中心となって「いじめ撲滅学校スローガン」を作成した。
- ・こうした取組で生徒一人一人がいじめについて考えるだけでなく自分の行動を振り返る場にもなった。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立米山中学校

○ 私たちの取組

「いじめ撲滅運動②」いじめ撲滅標語コンクール

○ 取組の紹介

- ・全校生徒を対象にいじめ撲滅標語を募集した。
- ・各学年から優秀賞を3作選出し、更に優秀賞全9作の中から最優秀賞1作を選出した。
- ・米山中学校では、これ以外にも「あいさつ運動の活性化」や「意見箱の設置」、「校内美化コンクール」等を実施し、行きたくなる学校づくりを目指している。

〈校内最優秀賞作品〉

つぐらない 一人ぼっちは ぜったいに



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立石越中学校

○ 私たちの取組

「気付きの木」

○ 取組の紹介

校舎1階の昇降口の近くに、「気付きの木」を掲示した。各学年1本の木を準備して、花びらのカードに、友だちの良いところを書いて貼った。互いのよさを認め合うことや、周りをよく見る力をつけるとともに、学級や学年の仲を深めることを目的として実施した。

どの学年も「気付きの木」の木の枝に、たくさんの花を咲かすことができた。その中には、「優しい人がたくさんいる」や「楽しい学級」などの気付きが見られた。

この活動を通して、それぞれの学年で互いの良いところを見つけることができた。また、周りを見て行動する力がついた。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立石越中学校

○ 私たちの取組

「校内いじめ防止標語コンテスト」

○ 取組の紹介

皆が安心して過ごすことのできる学校を目指し、「校内いじめ防止標語コンテスト」を実施した。全校生徒一人一人が素晴らしい標語をつくることができた。作成した標語を掲示して全校生徒が投票をした。投票する標語を選ぶために、じっくり眺める姿が見られた。投票の結果、優秀と認められた作品は石越中学校の代表として、全国いじめ防止標語コンテストに出品した。

標語をつくることによって、全校生徒のいじめ防止への関心が高まった。生徒会執行部では、これからもしじめ撲滅に力を入れて活動を続ける。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立南方中学校

○私たちの取組

あいさつ運動の強化

○取組の紹介

週のうち火～木までの3日間、部活動単位、または学級単位で週交換であいさつ運動を行っています。

この取り組みはいじめを生まないために生徒同士で、あいさつを通してコミュニケーションを図ることが目的です。

また、生徒会執行部は月・水・金を中心に、学年ごとに場所を分けてあいさつ運動を行い、運動を推進しています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立南方中学校

○私たちの取組

各委員会による取組

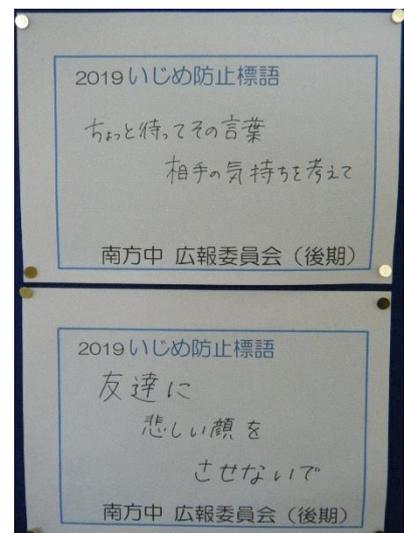
○取組の紹介

放送委員会・・・毎日帰りの放送でいじめ防止の呼びかけ

広報委員会・・・いじめ防止標語を掲示する

図書委員会・・・いじめについての本を置く

上記の活動などのように、年度初めに委員会ごとに「いじめのない学校をつくる取組」を考えてもらい、生徒会を中心に全校生徒で取り組んでいます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立津山中学校

○ 私たちの取組

小中連携あいさつ運動

○ 取組の紹介

- ・ 毎月第二水曜日の朝に小学校で、小学生と一緒にあいさつ運動を行っています。
- ・ 中学校の生徒会執行部の生徒がそれぞれの出身小学校で行っています。
- ・ 柳津小学校では児童会の児童と、横山小学校では委員会でのあいさつ運動と一緒に昇降口で行っています。
- ・ あいさつを通して、小学生や先生方と自然とコミュニケーションを取ることができました。
- ・ あいさつ運動を行った日は、一日を明るい気持ちでスタートすることができました。
- ・ 明るく、元気のいいあいさつを心がけ、小学生に中学生の様子を伝えることができました。
- ・ 中学生が小学生にとって身近な存在であることを感じ取ってもらえました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立津山中学校

○ 私たちの取組

地域貢献募金

○ 取組の紹介

- ・ 毎月28日を津山の日として募金活動を行っています。
- ・ 集めたお金で車いすを購入し、非常災害時に使用できるよう、公民館や支所に贈呈する予定です。
- ・ 各委員会と連携して行っています。例えば、厚生委員会はポスターを制作し、図書委員会は福祉コーナーを設置しました。
- ・ 全校生徒に、地域に貢献する活動を通して、思いやりの気持ちを高めてほしいと願いから、生徒会執行部が企画を提案しました。
- ・ 活動を根付かせて、津山中学校が地域の活性化の中心となることを目指したいです。

